

# 2021年度 専門セクションの活動(2022年2月現在)

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携(地域連携)	プログラム名	交流形態	対象者	2021年度の活動内容(学生交流・人材育成に係る活動)	参画者の氏名
(1) 医療健康	新潟大学	医学・医療全般	・クラスノヤルスク国立医科大学 ・極東国立医科大学 ・北東連邦大学 ・サントペテルブルク国立大学 ・太平洋国立医科大学 ・カザン連邦大学 ・カザン国立医科大学 ・モスクワ国立大学 ・モスクワ国立第一医科大学(セチェノフ大学)	・新潟県 ・新潟市 ・環日本海経済研究所(ERINA) ・株式会社 第四銀行 ・愛宕商事株式会社(日露医学医療交流コンソーシアムにいがた)	日露の経済・産業発展に資するグローバル医療人材育成フレームワークの構築(Japan-Russian G-MedEx Project、G-MedEx)	学生の派遣 その他(企業・地方自治体等(地域コンソーシアム)との連携)	学部 修士 博士	<p>① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 夏期医学生交流プログラム(主催:新潟大学医学部医学科、8月):新潟大学で例年実施している夏期医学生交流を、「医療健康セクション」参画校へも提供し、参加者を募集した。日露を中心に、4か国(日本、ロシア、中国、スリランカ)15校の医学部生が参加した。「医療健康セクション」からは本学以外に筑波大学等3校の学生が参加した。各国の医学生が、大学紹介、医学部における教育や研究、コロナ禍での学生生活等について発表と意見交換を行った。プログラム終了後に、希望者に、本学大学院医歯学総合研究科に所属する留学生との交流の場を設け、医師として国際的なキャリアを見据え、海外留学に関する知識を深める機会を提供した。</p> <p>② 企業・地方自治体等との連携 新潟大学と「日露医学医療交流コンソーシアムにいがた」が、12月9日～10日の2日間、「ロシア連邦対象オンライン日本留学フェア」を共催し、延べ148名が参加した。1日目は医科学分野専攻学生向けに実施され、「医療健康セクション」とも共同して、同参画校5校を含む8校が発表を行った。2日目は「新潟で学ぶ、働く、暮らす」をテーマに、新潟県内8校の学校紹介の他、同コンソーシアム参画4団体(自治体、シンクタンク、商社)が発表を行った。</p> <p>③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) ・6月21日、日露学術フォーラムのプレイベントとして、新潟大学(医療健康セクション)とモスクワ国立大学と合同で「日露医学教育オンラインシンポジウム」を開催し約50名が参加した。 ・9月15日、新潟大学(医療健康セクション)とモスクワ国立大学と合同で「日露学術フォーラム(医学教育)」を開催し、約50名が参加した。</p>	山川 詩保子

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携(地域連携)	プログラム名	交流形態	対象者	2021年度の活動内容(学生交流・人材育成に係る活動)	参画者の氏名
(1) 医療健康	東海大学		・極東連邦大学 ・サハリン国立大学 ・モスクワ国立大学 ・国立研究大学高等経済学院(HSE) ・極東国立医科大学 ・サハリン国立大学 ・極東連邦大学附属病院 ・北斗医療センター(ウラジオストク) ・北斗リハビリセンター(ウラジオストク)等	・神奈川県伊勢原市役所 ・未病センター(神奈川県)	ライフケア分野における日露ブリッジ人材育成一主に極東地域の経済発展を目的として	学生の相互派遣	学部 修士	<p>① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 海外研修(派遣44名、受入56名)、中期・長期交換留学(派遣16名、受入14名)、健康人材実務者研修(派遣10名、受入10名)を実施(実施予定を含む)</p> <p>② 企業・地方自治体等との連携 オンラインサマースクールを函館市の後援により実施</p> <p>③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 留学生向けのキャリアセミナーを実施予定、オンライン学生交流会を実施</p>	山本 佳男
(1) 医療健康	長崎大学	被ばく医療	・北西国立医科大学 ・ゴメリ国立医科大学 ・ベラルーシ国立医科大学)	・福島県立医科大学 ・福島県川内村 ・福島県富岡町 ・福島県大熊町 ・原子力安全研究協会 ・アルパイン株式会社	日露の大学間連携による災害・被ばく医療科学分野におけるリーダー育成事業	学生の相互派遣	修士	<p>① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 大学間協定 ・北西国立医科大学と長崎大学との間における学術交流協定の追加合意書 ・長崎大学と福島県立医科大学及びメーテニコフ名称国立北西医科大学との間の学術交流協定書 ・ダブル・ディグリー・プログラムの共同実施に関する合意書 ・長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、福島県立医科大学大学院医学研究科及びメーテニコフ名称国立北西医科大学との間におけるダブル・ディグリー・プログラム実施要項</p> <p>学生交流(オンライン講義及び実習) 【短期受入】10月「福島医大救急医学実習」、「長崎大川内村実習」、「放射線防護学I・II」 11月「リスク管理学特論」、「リスクコミュニケーション学」 【短期派遣】2月「生物統計学」 【ダブル・ディグリー・プログラム】10月より北西国立医科大学からのダブル・ディグリー・プログラム学生を長崎大学へ受け入れ開始した。</p> <p>② 企業・地方自治体等との連携 北西国立医科大学の学生が、福島県川内村の長崎大学 川内村復興推進拠点、一般社団法人 かわうちラボ、食品検査場(川内村及び富岡町)及びふたば医療センターにおいてオンラインによるフィールド実習に参加した。</p> <p>③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) キルギス国立医科大学アカデミーとオンライン会議を実施し、学術交流について検討した。</p>	高村 昇

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携(地域連携)	プログラム名	交流形態	対象者	2021年度の活動内容(学生交流・人材育成に係る活動)	参画者の氏名
(1) 医療健康	福島県立医科大学	被ばく医療	・北西国立医科大学 (・ゴメリ国立医科大学 ・ベラルーシ国立医科大学)	長崎大学		学生の相互派遣	修士	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 (1) 2021年10月、北西国立医科大学3名に対して川内村救急医学のオンライン実習を実施(長崎大学と共同)。 (2) 2021年度下期から北西国立医科大学ダブルディグリー学生に対して「救急医学特論1、II」のオンライン講義(英語)を実施(長崎大学と共同)。 (3) 2022年2月に修士学生1名が北西国立医科大学の「生物統計学」をオンライン受講予定。(長崎大学と共同)。  ② 企業・地方自治体等との連携 長崎大学と連携して国際交流を推進。  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) (1) 北西国立医科大学との修士ダブルディグリープログラム実現に向けたオンライン会議(長崎大学と共同)。 (2) 修士ダブルディグリープログラム実施のため、北西国立医科大学、長崎大学、本学の三大学間学術交流協定書及び合意書を2021年7月に締結(長崎大学と共同)。 (3) 2021年11月に、中央アジア地域向けの日本留学フェアに参加し、広報活動を実施。	和栗 聡
(1) 医療健康	金沢大学	・脳神経科学 ・予防医学 ・がん医学 ・循環医学	・カザン連邦大学 ・クラスノヤルスク国立医科大学 ・サントペテルブルク国立第一医科大学 ・タタルスタン共和国がんセンター	理化学研究所	日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム(先制医療プログラム)	学生の相互派遣	教員(研究交流) 博士	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 世界展開力強化事業(ロシア)の「先制医療プログラム」における交流から波及し、2021年度金沢大学交換留学プログラム(KUEP)およびKUEP-Onlineの枠組みで学生5名がクラスノヤルスク医科大学から留学中。  ② 企業・地方自治体等との連携 理化学研究所  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 2017年度から実施している世界展開力強化事業(ロシア)の体系的で多層的な学生交流プログラム「先制医療プログラム」は、2020年度から引き続きコロナ禍の影響により、講義教材を閲覧しレポート提出という形で交流を行っている。 また、2021年9月30日にカザン連邦大学、クラスノヤルスク医科大学、サントペテルブルク医科大学との共催でオンラインシンポジウムを開催し、両国の大学院生はオンラインにて研究発表を行った。また、各大学から教員・大学院生も参加し、活発な意見交換があった。今後の共同研究などに繋がることと期待される。	原 章規

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携(地域連携)	プログラム名	交流形態	対象者	2021年度の活動内容(学生交流・人材育成に係る活動)	参画者の氏名
(1) 医療健康	筑波大学		・ロシア国立研究医科大学 ・モスクワ国立大学 ・カザン連邦大学 ・ノヴォシビルスク国立医科大学 ・太平洋国立医科大学 ・ロシア各地の病院		ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム	その他(実習、実務研修)	学部(部) 修士 博士	③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 日露学術フォーラム(テーマ:医学教育)(2021年9月15日)に医学医療系鈴木保之教授が参加	山本 祐規子 インセパーエヴァ サビーナ
(2) 都市づくり	北海道大学	寒冷地適応型省エネ技術	・太平洋国立大学(NIoNC2021主催)	・関東学院大学	日露デザインスクール	学生の相互派遣	教員 修士 博士	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 サントペテルブルク建築土木大学とのサマースクール(7月、本学:日露デザインスクールに該当)/RJE3 Special Seminar I: Fieldwork on Development Technologies in Cold Region(8月、サマースティチュート)/ハバロフスク太平洋国立大学よりRJE3プログラム長期受入れ学生/日露デザインスクール(2月)	瀬戸口 剛 渡部 典大
(3) 中小企業交流	金沢大学		カザン連邦大学		日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム	学生の相互派遣 その他(アントレプレナー教育、インターンシップ)	修士	② 企業・地方自治体等との連携 Atlas Biomed、ROBBO、COEX Copter Express、Algorithmics、株式会社LikePay、株式会社TalentEx、Atlas of Emerging Jobs  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 日露間で活躍する企業や団体、大学から講師を招き、オンラインにて国際アントレプレナーシップ講義を行った。講義に対するオフィスアワーの時間を設けることで講師と学生間で活発な意見交換が行われた。	大友 信秀
(4) SDGs: 環境・資源開発・多文化教育	北海道大学	北極圏・北方圏の地域開発	・北東連邦大学 ・サントペテルブルク国立大学 ・モスクワ国立国際関係大学 ・ハバロフスク国立経済法科大学	・北海道 ・札幌市 ・北海道国際交流・協力総合センター(HIECC) ・公益財団法人 環日本海経済研究所(ERINA)	北極域研究推進プロジェクト(ArCS II)	その他(産学官連携型のイベントへの教員の参加、講演・ワークショップ開催)	学部 修士 その他(教員 官民団体関係者)	② 企業・地方自治体等との連携 企業や地方自治体と連携し、以下のオンラインセミナー及びワークショップをHaRP事務局と共同で主催した。 1. 2021年6月9日 "Multilevel Governance and Interregional Cooperation: Vol. 2 - The Barents Region" 2. 2021年9月14日 "Multilevel Governance and Interregional Cooperation: Vol. 3 - Sustainable Regional Development, International Cooperation and the Protection of the Arctic Environment" 3. 2021年10月18日 "Cross-border interregional cooperation in the Asia-Pacific Region as a driver for the development of the Russian Far East and the Asian Arctic" 4. 2021年12月8、9日 "The development of sustainable cruise industry in the Pacific Arctic: Past developments and future prospects"  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 2021年12月16日にロシア国立研究大学経済高等学院の学生への講義の実施。また、2022年4月もしくは5月に、ハバロフスク州立経済法科大学学生への講義について調整中。	サウナワラ ユハ

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携(地域連携)	プログラム名	交流形態	対象者	2021年度の活動内容(学生交流・人材育成に係る活動)	参画者の氏名
(4) SDGs: 環境・資源 開発・多文 化教育	北海道大学	SDGs達成を 目指した環境 観測におけ る無人航空機 (UAV)の適用	・モスクワ国立大学 ・北東連邦大学			その他	修士	③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 2021年9月15日オンラインセミナー「生態系モニタリングにおける日露協力」を実施し、日本、ロシア等の国から64名が参加。	アバタル ラム
(4) SDGs: 環境・資源 開発・多文 化教育	金沢大学	環境教育や日露 SDGs教育	・モスクワ国立大学 ・サントペテルブルク国立大学 ・カザン連邦大学 ・極東連邦大学 ・アルタイ国立大学 ・イルクーツク国立大学			学生の相互 派遣	学部 修士 博士	② 企業・地方自治体等との連携 石川県ロシア協会、石川県、金沢市、白山ユネスコエコパーク協議会、NPO法人白山しらみね自然学校  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) SDGs17「パートナーシップで目標を達成しよう」及びSDGs4「質の高い教育をみんなに」の達成に貢献すべく、本学の日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム「文化交流プログラム」にて学生交流および講義を行った。これらは全てオンラインで実施した。また、白峰地区の地域住民と学生の交流の場を設け、地域活性化と地域コミュニティ能力の向上を図った。	ママードウア アイデア
(4) SDGs: 環境・資源 開発・多文 化教育	北海道大学	・持続可能な開発のための教育(ESD) ・ESDグローバルパートナーシップ協同教育プログラム	・サハリン国立大学 ・ウラル国立教育大学		・双方向型短期留学支援プログラム「ESD Campus Asia Pacific」 ・ESDグローバルパートナーシップ協同教育プログラム	学生の相互 派遣	学部 2、3、4年生、2年生が主体)	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 サハリン国立大学との間で継続している以下の3つの学生交流を通じた教育連携のうち、1と3を実施した。2は計画したが、コロナにより未実施。  1. 双方向型短期受入派遣プログラム「ESDキャンパスアジアパシフィックプログラム2021」(10日間の夏秋双方向型短期受入派遣)(-2016年より毎年開催)本年度は夏冬にオンライン開催とした。夏季8月17-19日。冬季2月15-16日  2. 双方向型短中期受入派遣プログラム「ESDグローバル協働教育2022」(3か月1クォーター双方向受入派遣プログラム)(-2016年より毎年開催、2020、2021年はコロナにより中止)  3. 第4回日露3大学ジョイントセミナープログラム 2021 Russian-Japanese joint seminar, The impact of post-coronavirus society on the psychophysical and psychosocial spheres of personality: a new era of an interdependent society(大学院生の交流を中心とした若手指導者育成プログラム)2019年より毎年オンライン開催。非協定校であるウラル国立教育大学とともに3大学共同開催を実施した。56名の参加者があった。	池田 恵子

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携(地域連携)	プログラム名	交流形態	対象者	2021年度の活動内容(学生交流・人材育成に係る活動)	参画者の氏名
								③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 協定校のサハリン国立大学に加えて、非協定校であるウラル国立教育大学との間で学生交流を実施。さらに、ロシア語圏内にあるウズベキスタンのタシケント情報科学大学の教員も参加した。第4回日露3大学ジョイントセミナープログラム 2021 Russian-Japanese joint seminar, The impact of post-coronavirus society on the psychophysical and psychosocial spheres of personality: a new era of an interdependent society (大学院生の交流を中心とした若手指導者育成プログラム)2019年より毎年オンライン開催。非協定校であるウラル国立教育大学とともに3大学共同開催を実施した。56名の参加者があった。	
(4) SDGs: 環境・資源 開発・多文 化教育	北海道大学	・東アジア・極東ロシア地域における移住プロセス ・異文化コミュニケーション	・サハリン国立大学 ・ノヴォシビルスク国立工科大学	・日本ロシア語教育研究会 ・日本ロシア語学校教師会	タンデム・ランゲージ・ラーニング・プロジェクト(Tandem Language Learning Project: TLLP)	その他(国際シンポジウムの開催、共同プロジェクトの実施、共同出版プロジェクトなど)	修士 博士	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 学生及び教員の日露学生フォーラムの参加  ② 企業・地方自治体等との連携 日本ロシア語教育研究会、日本ロシア語学校教師会、CaSa NPO  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) タンデム・ランゲージ・ラーニング・プロジェクト(Tandem Language Learning Project: TLLP)への参加	バイチャゼ スヴェトラナ
(5) 産業多様化 促進	札幌大谷大学	文化	・サントペテルブルク国立文化大学 ・モスクワ国立大学	小樽商科大学		その他(教員の派遣)	学部 その他(教員)	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 サントペテルブルク国立文化大学  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 2020年度にも行ったオンライン学生間交流会について、継続のアレンジを行った。 2022年3月から4月にZoomを使用し、オンライン学生間交流会を行うこととなった。	山田 政樹
(6) 極東産業 振興	新潟大学	植物保護科学	・ロシア科学アカデミー極東支部極東アグロバイオテクノロジー連邦科学センター ・全ロシア大豆研究所			共同研究・協同人材育成	学部 修士 博士	③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 日露に共通して発生する植物ウイルス病研究を支える植物病理学分野の研究者・学生を対象としたミニシンポジウム「Russia-Japan Joint Mini-symposium on Plant Protection 2022」開催	湊 菜未

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携(地域連携)	プログラム名	交流形態	対象者	2021年度の活動内容(学生交流・人材育成に係る活動)	参画者の氏名
(6) 極東産業振興	金沢大学	・海洋科学 ・環境科学 ・生態学 ・毒性学 ・魚病学 ・大気科学	・極東連邦大学 ・ロシア科学アカデミー極東支部 太平洋海洋研究所		日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム	学生の相互派遣 研究者の受け入れ シンポジウムの開催	修士	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラムにおけるシンポジウムの中で、環境学をテーマとした個別シンポジウムを開催し、極東連邦大学、ロシア科学アカデミー極東支部、V. I. イリチェフ太平洋海洋研究所と金沢大学の学生がオンライン交流を行なった。  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 共同利用・共同研究拠点での研究集会(1件:ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋研究所)・共同研究(2件:ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋研究所、ロシア極東連邦大学)が採択。オンラインでの研究集会を3月に開催予定。	長尾 誠也
(6) 極東産業振興	千葉大学	・スマート農業 ・温室ビジネス(植物工場、食ビジネス) ・農業工学 ・園芸学	・沿海地方国立農業アカデミー ・極東国立農業大学 ・サハリン国立大学 ・ウスリースク市 ・ノヴォシビルスク国立農業大学 ・ロシア側民間企業(温室・養蜂等)	・農林水産省 ・柏市 ・イワタニアグリグリーン株式会社 ・株式会社プラネット ・双日株式会社、双日食料株式会社 ・ハンモ株式会社 ・NPO植物工場研究会	極東ロシアの未来農業に貢献できる領域横断型人材育成プログラム(FARM)	学生の相互派遣 インターンシップ	学部 修士	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 協定4大学との学生交流をオンラインで継続、渡航可能となった段階で対面での交流プログラムを実施する予定だったが、12月現在、来日・派遣共の年度内の実施が難しくなったため、今年度の交流プログラムはオンラインのみの実施になる。  ② 企業・地方自治体等との連携 企業と連携したインターンシップを継続予定。2020年度はオンラインと対面で実施したが、2021年度はオンラインのみで実施の可能性が高いため、オンライン教材の整備をすすめている。  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 施設園芸に関わる修士課程での共同プログラムの覚書をノボシビルスク農業大学、極東農業大学との間で締結し、講義科目のオンライン共同開講を開始している。	高垣 美智子
(6) 極東産業振興	東京農業大学	・食品開発 ・食文化 ・農業振興 ・海洋科学 ・日露青年交流	・極東連邦大学 ・LLC Euro-Asian Trading House Innovation (ООО «Евро-Азиатский Торговый Дом Инновация»)	・自治体:高知県、茨城県、北海道網走市、岩手県久慈市など42件 ・教育機関:北見工業大学など8件 ・企業:ロイヤルホールディングス、野村証券、日本香堂など26件 ・日立トリプルウィン株式会社 ・株式会社ホープ ・サクラ化学工業株式会社		学生の受入 その他(イチゴ栽培に関する極東連邦大学との共同研究)	学部 修士 博士(予定)	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 9月以降、ロシア語の授業を極東連邦大学にオンラインで実施し、学生交流を行った。  11月に開催された極東連邦大学との共同のオンライン国際シンポジウムを通して、両大学の学生が登壇し、互いの文化を紹介し理解を深めるなどの交流を行った。また、シンポジウムを記念した書籍の出版に向けた準備を実施し、文化・人的交流を深めた。	中川 至純

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携(地域連携)	プログラム名	交流形態	対象者	2021年度の活動内容(学生交流・人材育成に係る活動)	参画者の氏名
(7) 先端技術協力	金沢大学	・電子情報 ・機械工学 ・数学 ・物理学 ・物質科学 ・ナノ生命科学 ・製薬	・カザン連邦大学 ・極東連邦大学 ・ロシア科学アカデミー極東支部 ・アルタイ国立大学 ・ロシア製薬企業(Visterra社)	・株式会社PFU ・株式会社アクトリー ・津田駒工業株式会社	日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム(基礎科学プログラム、先端科学技術プログラム)	学生の相互派遣 インターンシップ	修士	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム「基礎科学プログラム」「先端科学技術プログラム」において学生交流、講義、インターンシップを全てオンラインで実施した。 また、2021年度金沢大学交換留学プログラム(KUEP理工系)の枠組みで、カザン連邦大学より2名を受け入れた。  ② 企業・地方自治体等との連携 Atlas Biomed, ROBBO, COEX Copter Express, Algorithmics、株式会社LikePay、株式会社TalentEx、Atlas of Emerging Jobs  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 日露間で活躍する企業や団体から講師を招き、オンラインにて国際アントレプレナーシップ講義を行った。講義に対するオフィスアワーの時間を設けることで講師と学生間で活発な意見交換がおこなわれた。	田中 茂雄
(7) 先端技術協力	北海道大学	生物計測化学	・モスクワ国立大学 ・メンデレーエフ記念化学工科大学	・東北大学 ・Tianma Japan株式会社		学生の受入	修士 博士	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 モスクワ大学  ② 企業・地方自治体等との連携 Tianma Japan株式会社との連携  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) オンラインおよびメールによる学生の指導。	渡慶次 学
(7) 先端技術協力	東海大学	レーザー技術	・モスクワ国立大学 ・極東連邦大学 ・トムスク国立大学 ・ロシア科学アカデミー極東支部沿海地方科学研究センター	東北大学		学生の相互派遣	学部 修士 博士	③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 日露共同研究による論文発表を10報実施	山口 滋

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携(地域連携)	プログラム名	交流形態	対象者	2021年度の活動内容(学生交流・人材育成に係る活動)	参画者の氏名
(7) 先端技術協力	近畿大学	・再生可能エネルギー ・製品開発、プロジェクトを推進・牽引するグローバル人材の養成	・モスクワ国立大学 ・ドゥブナ国立大学 ・ITMO大学 ・チュメニ国立大学 ・極東連邦大学 ・サントペテルブルク国立大学 ・ロシア政府附属財政大学 ・モスクワ国立工業物理研究大学(MEPHI) ・モスクワ市立教育大学	・豊田通商株式会社 ・豊田通商ロシア(Toyota Tsusho RUS LLC、モスクワ) ・大阪府 ・ものづくりビジネスセンター大阪 ・「モノづくり」企業10社	日露間で活躍できるモノづくり中核人材の育成	学生の相互派遣 インターンシップ	学部 修士 博士	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 新型コロナウイルスの影響により、渡航を伴う交流は受入6名、派遣4名(今年度末までの見込み)。 ② 企業・地方自治体等との連携 ものづくり企業での受入学生インターンシップを実施し、2名が参加した。 ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) オンラインプログラム「近大・ロシアものづくり学生フォーラム」を2021年8月、2022年2月の2回実施。	田中 仙君
(7) 先端技術協力	大阪大学	・核エネルギー ・原子力 ・素粒子・原子核物理学 ・数値シミュレーション ・計算科学	・極東連邦大学 ・合同原子核研究所	・高知大学 ・名古屋大学 ・九州大学		学生の相互派遣	修士 博士 その他(若手研究者、ポスドク等)	③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 極東大学出身のポスドク研究者との共同研究を継続している。	保坂 淳

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携(地域連携)	プログラム名	交流形態	対象者	2021年度の活動内容(学生交流・人材育成に係る活動)	参画者の氏名
(8) 言語・文化・観光	東京外国語大学	・人文社会科学分野 多様なビジネス分野に関わる応用力を備えた、卓越した日露ビジネス人材を育成 ・貿易・金融、観光・交通、農水産業、製造業・IT、医療通訳、報道、文化交流等の多様な分野で日露経済活動を活性化	(交流協定締結先) ① モスクワ国立大学 ② モスクワ国立国際関係大学 ③ ロシア国立人文大学 ④ 国立研究大学高等経済学院 ⑤ サントペテルブルク国立大学 ⑥ 極東連邦大学  ・モスクワ市立大学(協定校ではない) (JVTA主催、東京外国語大学が共催する日本アニメ上映イベント@モスクワ 2020.05.23-24での「協力校」)  (インターンシップ受入ロシア企業) ・LLC RYATICO(モスクワ)	(学生交流相手) ・創価大学 ・創価学園(高等学校)(東京外国語大学の受入学生を派遣し、学生同士の交流を進めている) ・稲城市立若葉台小学校(国際理解を深める授業に東京外国語大学の学生とロシアからの受入学生を派遣し「ロシアについて」出張授業を行う) (インターンシップ受入先) ・日本映像翻訳アカデミー株式会社(JVTA) ・ジェトロ ・ソニー株式会社 ・日立建機日本株式会社 ・横河電機株式会社 ・伊藤忠商事株式会社 ・三井物産株式会社 ・住友商事株式会社 ・株式会社ヤマハミュージッククリエイト ・京セラ株式会社 ・京セラドキュメントソリューションズ株式会社 ・飯田グループホールディングス株式会社 ・ジェーアイシー(JIC)旅行センター株式会社 ・名取事務所 ・国際交流基金 ・SAMI LLC(東京外国語大学ロシア語科OBがペテルブルクで立ち上げたIT系コンサルティング会社)	日露人的交流の飛躍的拡大に貢献するTUFSD日露ビジネス人材育成プログラム	学生の相互派遣 その他(インターンシップ)	学部	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 ・短期受入:2週間のオンライン「日露ビジネスサマースクール」(タンデム学習、国際日本学、字幕翻訳インターンシップ)実施 ・長期受入:日本語及び日本の文化・社会・経済を学ぶ科目を履修 ・短期派遣:学部前半のロシア語専攻学生ロシア語・ロシア文化を学習(オンラインで実施) ・長期派遣:6協定大学でロシア語や他の一般科目を履修  ② 企業・地方自治体等との連携 ・昨年度に引き続き日本映像翻訳アカデミー株式会社(JVTA)受入による事業参加型インターンシップ「J-ANIME MEETING IN RUSSIA 2021」を実施した。  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) ・JVTAが受入のインターンシップ(J-ANIME 2021)において、本学の学生20名とロシア協定校(モスクワ国立大学、モスクワ国立国際関係大学、高等経済学院、サントペテルブルク国立大学)およびモスクワ市立教育大学、モスクワ言語学大学、サントペテルブルク映画・TV大学の学生計29名が交流した。さらに、日本の大学(神戸市外国語大学、上智大学、大阪大学、筑波大学、東京大学、京都大学の計18名の学生も加わった(人数は開始時点)。  ・春学期の「日露ビジネス講義」、秋学期の「駐在員のロシア語」、サマースクールでの国際日本学・日露タンデム学習を通じて、語学力強化を含むビジネス人材の育成が図られた。	沼野 恭子

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携(地域連携)	プログラム名	交流形態	対象者	2021年度の活動内容(学生交流・人材育成に係る活動)	参画者の氏名
(8) 言語・文化・観光	東北大学	日露異文化交流	モスクワ国立大学	一般財団法人 東北多文化アカデミー(予定)	ジョイントリー・スーパーバイズド・ディグリープログラム(修士・博士)  モスクワ国立大学心理学部学生短期交流プログラム	学生の相互派遣	学部 修士	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 モスクワ国立大学  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) モスクワ大学のアレクサンダー・ラエフスキー准教授を、日本学術振興会外国人特別研究員として受け入れ、共同研究を推進した。	阿部 恒之
(8) 言語・文化・観光	神戸市外国語大学	・学術面・・・人文学、特に語学、通訳・翻訳学、外国語教育 ・教育面・・・共同研究・教材開発・共同論文指導(コチュテル)・招聘研究者による講義・相互の遠隔講義(通訳・翻訳、語学教育と国際理解教育を目的とする短期相互派遣プログラム、ICTを用いた日露の学生による協働の学び、アクティブラーニング、若手研究者の育成) ・自治体と大学との連携・仲介による相互の学生インター受け入れ支援、コミュニティ通訳養成	・モスクワ国立大学 ・国立プーシキン記念ロシア語大学 ・クバン国立大学 ・ウラル連邦大学 ・太平洋国立大学 ・エカテリンブルグ市	・総務省 ・神戸市 ・神戸大学 ・神戸学院大学		学生の相互派遣	学部 修士 博士 その他(教員)	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 ・交換留学の実施。派遣(クバン国立大学・ウラル連邦大学各1名:渡航、太平洋国立大学1名:オンライン)、受入(太平洋国立大学1名:オンライン)  ・クバン大学とのオンライン学生交流会(2021年7月) <a href="https://www.jrex.or.jp/russia-classrooms/">https://www.jrex.or.jp/russia-classrooms/</a> 神戸市外国語大学xクバン国立大学%e3%80%80オンライン/  ・日本人学習者向けロシア語教育に関する教育実習生受入れ(実習生:ニジニーノヴゴロド国立言語大学大学院生1名、期間2021年11~12月)  ② 企業・地方自治体等との連携 総務省の日露自治体間交流を実施(神戸市/エカテリンブルグ市間)ウラル連邦大学、本学、神戸大学、神戸学院大学が参加 <a href="https://www.city.kobe.lg.jp/a74716/202111222.html">https://www.city.kobe.lg.jp/a74716/202111222.html</a>  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) J-ANIME MEETING(「日本映像翻訳アカデミー(JVTA)」主催・東京外国語大学共催)へ本学より10名の学生がインターンシップ参加	金子 百合子

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携(地域連携)	プログラム名	交流形態	対象者	2021年度の活動内容(学生交流・人材育成に係る活動)	参画者の氏名
(8) 言語・文化・観光	上智大学	・ロシア語 ・ロシア文化社会 ・グローバル社会	・モスクワ国立大学 ・モスクワ国立言語大学 ・サントペテルブルク国立大学 ・サントペテルブルク国立文化大学 ・ゲルツェン記念ロシア国立教育大学 ・リャザン国立大学 ・ヴォロネジ国立大学 ・ペトロザヴォーツク国立大学 ・極東連邦大学			学生の相互派遣	学部 修士 博士	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 派遣 13名(当初計画 春出発9名→オンライン留学3名(うち1名は秋のみ渡航)、留学中止6名、秋出発4名→オンライン0名、22年春のみ渡航留学希望3名、留学中止1名)、交換受入 2名(オンライン履修)  今年度新たに2校(MGIMO、モスクワ市立大学)が加わり、計11の交換留学協定校と、ロシア語、ロシア文化社会、グローバル社会の分野において、単位互換に基づく学生交換を実施している。 2021年度においても新型コロナウイルス感染症の影響で、大学全体の渡航留学は引き続き原則中止とした。そのため、ロシアへ派遣予定だった学生も大半はオンラインでの留学もしくは留学中止となった。また、秋学期(2021年秋出発)については、春学期にオンライン留学をした学生1名のFEFUへの渡航留学も、個別審査を行ったうえで再開した。また、当初21年秋出発を予定していた学生の大半は、秋学期のオンライン留学を見送り、22年春学期のみ渡航を希望する計画を提出しており、現地での学びを希望する学生が多い傾向が続いているほか、学内選考への応募人数もほぼ変動なく推移している。  一方、交換留学生の受入については、2021年度は春学期・秋学期ともに渡日を伴う受入は中止したが、オンラインによる交換留学プログラムを提供した。春学期はサントペテルブルク国立文化大学から、秋学期はサントペテルブルク国立大学からそれぞれ1名ずつオンラインで受け入れた。  ③ その他(学生交流・人材育成に関する実績) 今年度新たにMGIMO、モスクワ市立大学の2校と交換留学協定を締結。上記2校を加え交換留学協定校は11大学となった。 (モスクワ国立大学、モスクワ国立言語大学、サントペテルブルク国立大学、サントペテルブルク国立文化大学、ゲルツェン記念ロシア国立教育大学、リャザン国立大学、ヴォロネジ国立大学、ペトロザヴォーツク国立大学、極東連邦大学、MGIMO、モスクワ市立大学)	森下 哲朗